



日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.1.18 No. 3148

突入 突入 ストより 0時

支部 本日

貨物支部はスト中止! 8名が新たに加入!

動労千葉は一月十七日 来ないとの対応に終始し日十五時すぎから東日本たため、交渉はものわか千葉支社において組合要求の前進をはかるべく交渉を行ったが、会社当局は、前回以上の回答は出

又貨物支部については 十八時すぎスト中止を決団体交渉の経過にふまえ、定した。一定の前進を確認しつつ

各拠点支部で前夜集まりからとる

スト拠点になっている津田沼・千葉転・京葉・木更津・館山・勝浦・銚子・各支部はそれぞれ前夜集会を当局の退去通告をはねのけてかちとり、新小岩支部は庁舎まで四十名の結集で集約集会をおこなった。当局は組合事務所・乗務

本交渉で解決する 交渉勢のない東日本

一 三月闘争は清算事業団、定年延長、反合・運転保安確立、九〇・三ダイ改、不当処分など重大な課題を

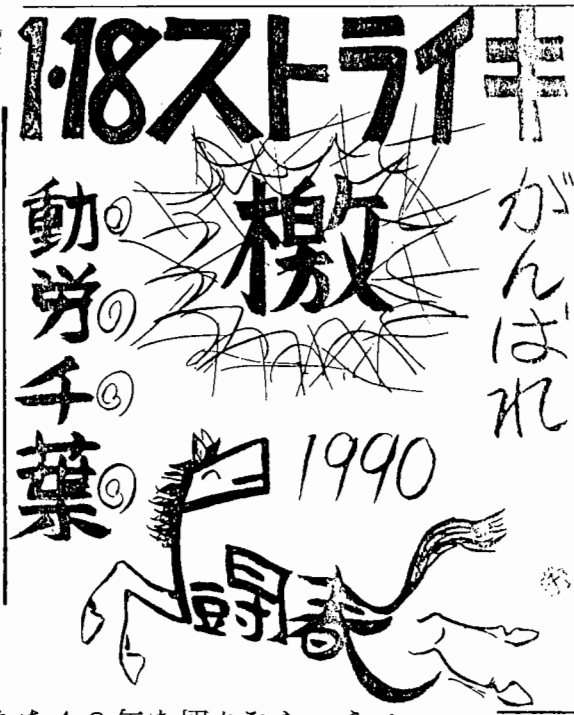
案したものは変えないという従来のやり方を続けている。運転保安、九〇・三ダイ改をめぐる交渉でもいっものように回答ならざる回答に終始している。そしてスト直前の交渉でも「前回以上の回答はできない」と、かたくなな姿勢を崩さないのである。東日本の団交軽視を許さず、組合要求の実現に更にねばりよく闘いぬこう。

清算事業団闘争勝利、九〇・三ダイ改阻止へ

今日の一・一八ストをもって、一・一八三月闘争は一挙に正念場に入った。なによりも本州清算事業団の存在と闘いが前面にクロ、ズアツプされた。しかも国労の「本州清算事業団切り捨て」策動のなかで、動労千葉が本州もふくめた全清算事業

一切の敵対はねのけ スト貫徹へ

当局は十二・五同様千葉まで東京・中野の乗務員が乗り、スト破りを策動して



- ※ 原職奪還へ! 事業団支部大会 一月二〇日
- ※ 運動士の差別、選別登用を撤回し、選別
- ※ 予科生集会 一月二三日(二五日) 各日十八時から
- ※ 若年退職勧奨は許さない
- ※ 高齢者集会 一月二九日、三十一日 各日十三時から